

# 第1回町田市地域福祉計画審議会 議事録

## ○ 開催概要

日 時：2026年5月20日（水） 18：30～20：00

会 場：町田市役所 3-1 会議室（対面及びリモート形式）

出席者：《審議会委員》 名和田是彦会長、平野友康職務代理、柴山朋子委員（途中出席）、戸羽一委員（リモート）、森永ゆかり委員、矢島志津香委員、高橋京子委員、川畑一隆委員、鈴木桜子委員、森公男委員、岡田ゆう子委員、戒めぐみ委員、喜田亮子委員、北澤英明委員

《事 務 局》 地域福祉部 金子部長（途中出席）

地域福祉部福祉総務課 太田課長 ほか8名

市民部市民協働推進課 磯崎課長 ほか2名

防災安全部市民生活安全課 小宮課長 ほか2名

欠席者：《審議会委員》 倉光典子委員

傍 聴：1名

## ○ 次第

### 1 委員委嘱

(1) 委嘱状の交付

### 2 開会

(1) 委員自己紹介

(2) 会長及び職務代理選出

(3) 諮問

(4) 副市長挨拶

### 3 報告事項

(1) 町田市地域ホッとプラン概要について

(2) 第1部「みんなの計画」前半期振り返り

①リーディングプロジェクト

②基本目標・基本施策・指標達成度

③成年後見利用促進計画

④再犯防推進計画

(3) 第2部「私の地区の未来ビジョン」前半期振り返り

(4) 町田市の現状について

①統計データの更新について

②市民アンケート調査結果

③地域活動団体アンケート調査、町内会・自治会アンケート調査

(5)町田市における地域コミュニティの未来に関する共同研究概要

4 審議事項

(1)見直しに向けた審議のスケジュール

(2)中間見直しの方向性について

5 その他

(1)地域福祉部長挨拶

○ 配布資料（資料3のみ当日配布）

【資料1】町田市地域福祉計画審議会条例

【資料2】町田市地域福祉計画審議会委員名簿

【資料3】諮問書（写）

【資料4】地域ホッとプランの概要

【資料5-1】リーディングプロジェクト振返り

【資料5-2】基本目標・基本施策・指標達成度

【資料5-2参考資料①】2024年度各課の取組の進捗状況

【資料5-2参考資料②】指標等に活用したアンケート調査の概要について

【資料5-3】成年後見利用促進基本計画振返り

【資料5-4】再犯防止推進計画振返り

【資料6】第2部「私の地区の未来ビジョン」前半期振返り

【資料7-1】統計データの更新について

【資料7-2】市民アンケート調査の結果及び計画策定時との比較について

【資料7-3】地域活動団体アンケート調査、町内会・自治会アンケート調査

【資料8】「町田市における地域コミュニティの未来に関する共同研究」最終報告書の抜粋

【資料9】見直しに向けた審議のスケジュールについて

【資料10】中間見直しの方向性について

○ 議事

1. 委員委嘱

・委嘱状の交付

2. 開会

・定足数の確認および会議成立の報告

(1) 委員自己紹介

(2) 会長及び職務代理選出

(3) 諮問

(4) 副市長挨拶

### 3. 報告事項

(1) 町田市地域ホッとプラン概要について

(事務局 資料 4 説明)

(2) 第1部「みんなの計画」前半期振り返り

(事務局 資料 5-1、5-2、5-3、5-4 説明)

(3) 第2部「私の地区の未来ビジョン」前半期振り返り

(事務局 資料 6 説明)

会長： 報告事項1から3までご報告いただいた。この後報告事項4、5についてもご説明いただくが、ここでいったん切って、質疑等があればお受けしたい。

委員： 資料4の1ページ目にある図を見ると、まず「まちだ未来づくりビジョン2040」というものがあって、その下に今回検討する「町田市地域ホッとプラン」、そしてその中に5つの町田市の計画があるというつくりになっている。ということは、今回ここで見直しを行い、何らかの変化が生じた場合、他の町田市の計画も変わっていくという理解でよいか。

事務局： 変わるものと変わらないものがあると思うが、まずはいただいたご意見を各計画にも反映出来るか、検討を進めさせていただきたい。

委員： それぞれ計画の期間が違うので、見直すタイミングも異なっているが、各計画の見直しのところで、ホッとプランの検討した内容の反映を検討していくということか。

事務局： 事務局の所管が違う計画もあるが、しっかりと届け、案内させていただく。

会長： 今、行政は計画だらけで、計画相互間の関係も並列、上位計画、下位計画とかなり複雑になっているが、時系列の中での調整を事務局にはお願いしたい。

委員： 資料5の、各取組の自己評価の考え方についてお聞きしたい。資料5-2参考資料①の取組の一覧を見ると、16ページある中で、△がふたつだ

け、後はみんな○で、非常によく取り組んでおられる。自己評価としては、○が予定通り、△は未実施・進捗遅れとなっているが、「予定通り」の基準は、各部署で数値目標を決めてそれを達成したということか、それともただ取り組んだということなのか、その辺りのレベル感を教えていただきたい。

事務局： 評価の内容について、数値目標は各部署によって持っていたりそうでなかったりする。あくまでも、その課の自己評価というところである。

会長： 非常に重要な視点である、計画の評価については、「これをやった」というアウトプット指標ではなく、「やった結果どうなった」というアウトカム指標で本来は評価するべきだが、地域福祉計画は定量的に成果が示せるようなものではないので、非常に難しい。ただ、どのような評価の方法が町田市にとって相応しいのかは、機会があれば審議会でもケアをして、議論が出来ればと思う。

#### (4) 町田市の現状について

(事務局 資料 7-1、7-2、7-3 説明)

#### (5) 町田市における地域コミュニティの未来に関する共同研究概要

(事務局 資料 8 説明)

会長： 報告事項4と5について、ご説明をいただいた。統計データも整理されて、緻密に作っていただいている。ご意見等がなければ、報告なので、次に進ませていただきたいと思いますと思うが、いかがか。

(質疑・意見なし)

### 4. 審議事項

#### (1) 見直しに向けた審議のスケジュールについて

(事務局 資料 9 説明)

会長： 実施の作業の中身についてはこの後詳しく説明があると思うが、まずは大枠のスケジュールを示していただいた。これについて、ご意見、ご質問はあるか。このような審議会で、4回開催というのは、結構多い方だと思う。スケジュールについては、こちらでよろしいか。

(異議なし)

(2) 中間見直しの方向性について

(事務局 資料 10 説明)

会長： 時間が押してきてはいるが、出来るだけ皆さんからご発言をいただければと思う。計画の体系的な姿は、10年計画の5年目の中間見直しというところで、昨今の情勢等に照らしても、基本目標、基本施策はこのままとし、取組について見直していきたいというご意向である。こちらの整理の仕方や、その他今ご説明いただいた資料10の中身について、それぞれの立場からご意見をいただければと思うが、いかがか。

委員： 包含計画の扱いについて確認したい。現在のように取組みに溶け込ませるのか、それとも別に章立てするのか。

事務局： 新たに章立てする予定である。

(福祉総務課)

委員： 維持する部分と見直す部分については、賛成する。リーディングプロジェクトがそれなりに動いて、成果も出てきている。その強みを活用していくのが、後半期において有益だと考える。私は鶴川地区社協に関わっており、YORIAI や〇ごとともに地域の中で協力してきたと思っているが、他の地域はどうなっているのだろうかと気になっている。以前、町田市社協が主催となって、各地区社協が集まる情報交換の機会をいただいた。そこに参加したのだが、やはり地域によって違いがあり、それぞれで様々な活動を行っていた。全て同じように取り組むことは出来ないが、よい活動の話聞いて、参考になった。こういうこともあるので、地域の情報を共有する機会を作り、地域の特徴はしっかりと踏まえて、無理のないところからというのを前提に、よりよい活動が起こりやすくなる仕組みについて、後半は力を入れていくとよいのではないか。

事務局： 異業種や他地域の方達が一堂に会して、意見交換をする場を設けることで、活動のアイデアが生まれるきっかけになると考えている。そういった活動が一層増えていくような取組を考えて、第2回審議会でお示ししたい。

委員： 地域での支え合い、という話になると、最後には町内会・自治会が頼りにされてしまうが、ご存知のとおり参加率も40パーセント台で、50パーセントを切ってしまうている。正直言って、町内会・自治会に加入している人は支えていけるが、それ以外の方々に関しては、手が回らない状況になっている。そのため、市の施策も、町内会・自治会に求めるものと、加入していない人に対するもので、ある程度すみ分けをする必要があるのではと考えている。

町内会・自治会に加入している人達はある程度顔が見えてくるし、情報も分かってくるので、支え合いは密に出来る。ただし、団体としての力

が非常に弱くなっている町内会・自治会もあり、そこに対してサポートをし、充実させていくような施策があれば。一方、町内会・自治会に加入していない人達は、支え合いのレベル圏が異なるので、すみ分けをする必要がある。そういう時期に来ているのではないかと思う。そういった観点で、市として評価等をされたことがあるのか、もしされたことがあるのであれば、概要だけでも教えていただきたい。

事務局：(福祉総務課) ホットプランでは、3つの大きな目標に向かって進めている。基本目標Ⅰは、市民個人が、地域のことを自分のこととして捉えていただくために、普及啓発等をしていくことで、輪に巻き込んでいくという取組。基本目標Ⅱは、活動している団体の活動がより活性化したり、団体間の連携を促進していく取組。基本目標Ⅲは、福祉サービスを必要としている方に向けた取組。大きな分け方としては、そのようになっている。町内会・自治会に加入しているかどうかは分からないが、そういった形でターゲットを設定し、それぞれに向けて必要な取組を入れている。

事務局：(市民協働推進課) 第2部の「わたしの地区の未来ビジョン」では、地区協議会や地域での取り組みを中心にまとめている。中間見直しでは、このような活動を振り返り、共同研究の内容も踏まえて、更新していきたいと考えている。

委員： ぜひそのアクションは進めていただきたい。地区協議会も、出来てから十年が経って、やっぱりそろそろ見直しの時期に来ているんだろうと思う。組織の構築のあり方など、色々な情報から見直しの提案が出来るように、せっかくの見直しの時期に合わせて、やっていただければ。地区協議会も同じような状況で、世代交代の際に、担い手不足の問題がある。そういった面で、市として人材面でどんなサポートが出来るのかなど、研究してもらいたい。

委員： 地域にお住まいの方の主体性や意見を尊重しなければいけないと思うが、実態としては町内会・自治会の加入率が50パーセントを切っているということである。

当法人の職員も、町田市民はそんなにおらず、近隣から働きに来ていて。では災害時に何もしないかと言ったら、そうではない。職場近くの障がい者の支援も最大限やるべきだと考えている。住民の方々の主体性や意見を尊重しながらも、住民ではないが町田市に関わっている方達の力をどういう風に活用していくのかという視点で、検討があるとよいのではないか。

委員： 高齢者の福祉を主に担当している。特別養護老人ホームを運営しており、福祉避難所の認定も受けている。地域との連携が不可欠で、防災協定も結んでいる。有料老人ホームを含めると、高齢者を預かっている施設は非常に増えている。このような事業所や法人が、防災だけではな

く、普段の町内会・自治会の活動への参加などを通して、地域が困った時に連携して、役割を担っていくのは、必要なことだと思う。

それこそ、町内会・自治会だけの問題にするのではなく、福祉分野の事業者と連携していければ、人数の確保も含めて地域の困りごとを解決する一助になる。一方で、私達が困った時には、地域の方々に助けていただけるということが出来るのではないか。実際に、地域の方達と上手く関係性を作っている施設もある。福祉の力も上手く使っていただきながら、地域がより活発になっていけばいいと思う。

委員： 見直しの方向性については、基本的には賛成。そのうえで、見直しの内容について、取組施策や事業内容の見直しや充実が書かれているが、指標についてはどのように考えていくのかを確認したい。アウトプットである市の職員の方達のご活躍、働きについては、大きな成果が出ている。一方で、基本目標の指標、例えば「市民活動に参加したことがある市民の割合」等の、起きてくる変化については、時間がかかることではあるし、社会情勢の変化の中で達成が難しいところではあるものの、横ばいであったり、伸び切らないところが多く見られる。この間を埋めるような指標を設定するのか、そもそも指標そのものを見直すのか、アクションの部分と成果に少し距離がある今、どう考えていくのか。

事務局： 基本目標の指標については、社会指標的な、最終的な指標に近いものと捉えている。計画の取組水準を測っていくためには、基本的には維持していった方がいいと考えている。

一方、ご指摘のあった各取組は、活動指標、アウトプット指標を持っているものと持っていないものがある。取りまとめの中で、目安になるような、数値的なものも取り入れられないかということは、検討させていただきたい。

委員： リーディングプロジェクトについては、一定の成果が出ているので、より充実させていくという方向になると思うが、どのような成果が出ているのかが、今日の資料だけでは十分に分からなかった。具体的な内容が資料で拝見出来ると、どういうところが上手くいって、よりどんな支援があると充実していくのかが理解出来たと思う。具体的には、「地区協議会・地区別懇談会・YORIAI から生まれた課題解決プロジェクトの実施件数」の現状値が82件とあるが、大きな数字であると思いつつ、粒感は様々なのだろうなど。今後どう支援が必要なのかは、粒感によってかなり変わってくるので、もう少し具体例が見えるとよい。

事務局： 次の審議会の際に、少し事例を紹介させていただく形にしたいと思う。  
(福祉総務課)

会長： ホットプランを見ていると、コラムで事例を紹介するページがあまりないような印象があった。コラムは終盤に検討すると思うが、事例も紹介いただけるといいのかもしれない。この辺も含めて、ご検討いただければ。計画の評価については難しい問題ではあるが、次回どのくらい見直していくのかという材料は出てくると思うので、この場でも議論出来るのではないかな。

先程委員から問題提起のあった一連の議論で、専門機関が地域に関わっていくという話が出ていた。住民側は町内会・自治会が基本的な組織だが、町内会・自治会に入っている人を世帯ではなく人口で見ると、まだ六割は加入している。地区協議会は勿論、地区社協、自主防災組織など、色々な団体に関わって地域のネットワークを作っているのかなと思う。ぜひまた次回、そういう方向でも議論していきたい。

他に意見がなければ、最後は職務代理にまとめていただこうと思うが、いかがかな。

職務代理： まとめという訳ではないのだが、私を感じたことを少しお話す。今まで5年間の報告をいただき、やはり連携していく中で、どのようなことを課題にしていくかというお話が聞けたかなと思った時に、その「連携」という言葉を違う言葉に言い換えたらどうなるのか。「役割分担」ということなのか、「一緒にやる」ということなのか、「一緒にやるだけではなく、更に関係している人を巻き込んでいく」ということなのか。また、「連携」はどうしても提供者側の言葉になりがちだが、当事者側で考えた時に、どういうものとして捉えていくのか。そういうところが見える形で、次回に繋がるといいのかなと思った。

会長： 専門機関のつながりと、住民同士のネットワークの関係、そういうところが骨子で見えるといいのではないかな。  
ここまでのご意見を踏まえると、資料10の見直しの方向性の大まかな方向性はそのまま、これに沿って骨子案を作っていくということで、審議会として承認するということでよろしいかな。

(異議なし)

会長： それでは、今回の内容を、骨子案に繋げていただければと思う。

## 5. その他

### (1) 地域福祉部長挨拶

事務局： 本日の報告事項および審議事項について、追加の意見や質問がある場合は、資料末尾の「質問シート」に記入の上、事務局まで提出をお願いします  
(福祉総務課)

たい。

また、次回の審議会の件だが、8月初旬の開催を予定している。現在は日程を調整中であるため、確定次第、追って通知させていただくのでよろしく願います。

閉会

以上